

[漕艇] 日本カヌーフラットウォーターレーシング

K-1・200メートル、K-4・200メートル カヤック2種目で日本一

日本カヌーフラットウォーターレーシング選手権が9月7日から10日まで、石川県小松市の木場潟カヌー競技場で行われ、佐々木一成主将(文4・田辺商高)、渡邊秀幸(文2・富士河口湖高)、真鍋達朗(商2・久美浜高)、和田恭平(商1・二本松工高)組がK-4(カヤック4人乗り)200メートルで優勝、同500メートルで3位。また、渡邊がK-1(同1人)の200メートルで優勝、500メートルで3位に入賞するなど、輝かしい成績を収めた。

佐々木主将は「昨年はK-4・1000メートルで優勝しているので、今年も優勝を、とみんな目標を定めていた。大学生活最後の大会で再び日本一を獲得できたことは、今後の人生の大きな糧となります」と話した。

渡邊は「シングルより、団体での優勝が大きな成果。今年はインカレに照準を合わせ、長距離の練習を積んできた。その結果、短距離でも後半で勝負できる体力がついた。今後は長距離でも結果を出せるよう、さらなる体力作りに励みたい」と語った。



▲“日本一”の栄冠を勝ち取り、喜びのK-4・200メートルの4人

[相撲] 全国学生個人体重別

135kg未満級・安藤が準優勝 無差別級・水野ベスト8

全国学生相撲個人体重別選手権が9月23日、靖国神社相撲場で行われ、135kg未満級で安藤総一(経済2・専大松戸高)が準優勝を果たし、無差別級で水野裕士(経営4・愛工大名電高)がベスト8に入った。

昨年からの好成績を残してきた安藤は「リラックスして相撲を取れたのが良い結果につながった。とにかく目の前の相手を倒すという気持ちで臨みました」と大会を振り返った。次は11月3日から大阪府堺市で行われる団体の全国学生相撲選手権。「この準優勝で少し自信もついたので、勝利に貢献できるよう頑張りたい」と語った。昨年度を超える活躍を期待したい。

また、9月15、16日に行われた東日本学生リーグ戦で、専大は2部8校中2位。入れ替え戦への出場はならなかった。



▲「自信がついた」と語る準優勝の安藤

(松本 かおり・文2)

[卓球] 秋季関東学生リーグ

女子2位と大健闘 高が優秀選手賞、杉本は敢闘賞

秋季関東学生卓球リーグ戦が、9月3日から7日まで代々木第2体育館で行われ、女子が2位となる大健闘を見せた。

1部復帰後初のリーグ戦は3勝2敗で青学大と並んだが、直接対決を制し、相手を上回った。樽見緑主将(文4・宇都宮文星女子高)は「挑戦者の気持ちを忘れずに戦った。2位という結果を残し、大きな自信になった。この経験を生かし、次も頑張りたい」と話した。個人では、高瑜瑤(商1・秀光中等教育学校)が優秀選手賞に、杉本枝穂(文3・青森山田高)が敢闘賞に選ばれた。

男子の秋季リーグ戦は、5位で大会を終えた。徐々に実力を発揮していったものの、序盤の連敗が響き、2勝3敗だった。

(馬場 雄也・ネット情報1)

秋田わか杉国体

専大勢が活躍 —ボクシング・川内が連勝、レスリング・稲葉初優勝

9月29日から10月9日まで、秋田わか杉国体が開催され、専大からは10種目に54人(10月12日現在判明分)が出場し、各県の代表として健闘した。

ボクシングの成年男子ライトウェルター級では川内将嗣(商4・龍谷高=佐賀)が連覇を達成した。2年次ではウェルター級で優勝しており、大学での国体優勝は通算3回。今大会は4試合すべてをRSC(レフリーストップコンテスト)で勝利し、存分に実力を発揮した。

レスリングでは成年男子フリースタイル55kg級で稲葉泰弘(経営4・霞ヶ浦高=茨城)が初優勝を遂げた。8月の全日本学生に続き、2つ目の国内タイトルを手にした。

また、バスケットボール成年女子の部で保坂和音(文2・秋田経済法科大付高)が秋田県代表で優勝に貢献、フェンシング成年女子フルーレで高橋南(文3・聖霊女子短大付高)が同じく秋田県代表として優勝に貢献した。



▲ライトウェルター級連覇を達成した川内
(佐賀新聞社提供)

[水球] 日本学生水泳

7年ぶりのシード権獲得

日本学生選手権水泳競技大会(水球競技)が9月21日から24日まで、神奈川県相模原市立総合水泳場ほかで開催された。専大は4位入賞と健闘し、7年ぶりに来年度のシード権を獲得した。

全22チームがトーナメントで争う今大会。専大は初戦で四国学院大に29—1のスコアで勝利すると、勢いに乗り、順調に勝ち進んだ。しかし準決勝で日体大に敗れると、3位決定戦でも力及ばず、筑波大に9—16で敗れた。菅原大主将(経営4・山形工高)は「4年間で一番の成績を残すことができたが、上位のチームとの差は大きく、競り合うことができなかった。来年はもっとまとまったチームを作り、今年以上の成績を残せるように練習してほしい。打倒日体大！」と後輩にエールを送った。



▲4位入賞を果たした水球のメンバー

(庄司 亮介・文1)

国体成績

◇カヌー

【男子フラットウォーターレーシング・カヤックシングル200メートル】渡邊秀幸(文2・富士河口湖高＝山梨)2位、真鍋達朗(商2・久美浜高＝京都)4位

◇テニス

【女子】萩庭美里(文3・聖霊女子短大付高＝秋田)3位

◇バスケットボール

【男子】宮城信吾(経営1・美来工科高＝沖縄)ベスト8

◇フェンシング

【男子エペ】田端洋平(経営3・武生商高＝福井)3位、大馬義明(経営2・今別高＝青森)4位【女子フルーレ】森美奈子(経済2・翔陽高＝熊本)8位

◇レスリング

【男子G84kg級】矢野将章(経済3・広陵高＝奈良)ベスト8【男子G96kg級】野口智行(経済4・向上高＝神奈川)3位、岩間奨平(商1・鳥取中央育英高＝鳥取)ベスト8

※いずれも成年の部で、主な記録のみ掲載。テニス、バスケットボール、フェンシングは団体戦。レスリングのGはグレコローマンスタイルの略。

◇バスケットボール

【男子】宮城信吾(経営1・美来工科高)ベスト8